



介護医療院への期待

団塊の世代が全員75歳以上となる2025年、更にはその先の2040年にかけて、我が国では85歳以上の方が急増することが見込まれています。そうした中、介護医療院は、医療の必要な要介護者の長期療養・生活施設として、平成30年に創設されました。

この介護医療院は、日常的な医学管理、看取りやターミナルケアといった機能に加え、生活施設としての機能を兼ね備えた施設として制度設計されています。医療・介護のニーズを併せ持ち、医療処置等が必要で自宅や特養等での生活が困難な高齢者の方々を支えるという、とても大切な役割が期待されます。

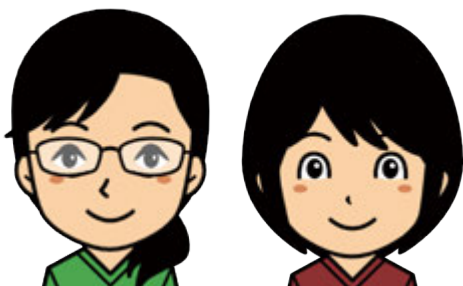


厚生労働省老健局老人保健課長 古元重和

救世軍清瀬病院は2024年2月1日より「介護医療院シャロン」を開設しました。超高齢社会における介護需要急増という困難な課題に対して、利用者の方々が住み慣れた地域で継続して生活でき、お一人お一人の貴重な人生に関わる専門機関として存在していきます。そして地域の皆様との連携や地域の活性化に寄与できますよう、医療と介護が連携し、地域包括ケアシステムの中で、多職種協働を実践できる施設を目指し奮闘していきます。



介護医療院シャロン 副施設長 加納由美子



施設ではありますが、生活の場として、その方に合った支援をしていきたいです。医師、看護師、ワーカー、栄養士、リハビリ、クラークなど、多職種チームで、皆様お一人お一人を元気に応援します。

(ケアマネージャー遠藤)

入所者の皆様お一人お一人が、心身ともに穏やかな日々を過ごしていただけるよう努めていきます。

(ケアマネージャー森本)

介護医療院に関する
お問い合わせ先

TEL:042-497-8185

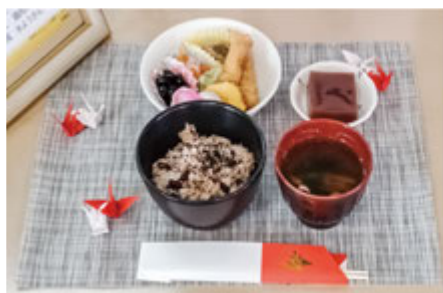
受付時間 平日9:00～17:00（祝日を除く月曜日～金曜日）

介護医療院シャロンを開設しました

2月1日より、医療療養病棟2階で「介護医療院シャロン」がオープンしました。
介護医療院とは「日常的な医療」や、「看取りやターミナルケア」等の医療機能と、「生活施設」としての機能を兼ね備えた施設です。

私たち介護医療院シャロンの特徴

- 多職種で構成されたチームで横断的に連携をはかり、入所者様をバックアップします
- 緑豊かな自然環境の中でゆったりとお過ごしいただけます
- 入所者様の状態に合わせた調理の工夫をし、栄養バランスの取れたお食事を提供します
- チャプレンが常駐し、スピリチュアルケアをおこなっています
- 音楽療法士によるレクリエーションを実施しています
- 季節ごとの行事をお楽しみいただけます



季節の行事

介護医療院になったの最初のレクリエーションは、懐かしい「はながみ」で、入所者様とスタッフで鬼を作りました。入所者様の中には少し怖がる方もいたほどの2メートルの立派な迫力のある鬼が完成しました!! これからもどんどんワクワクするような、記憶に残るレクリエーションを入所者様と一緒に楽しんでおこなっていければと思います。



医療療養病棟

お誕生日をお祝いしました

HAPPY
BIRTHDAY!!

患者様のお誕生日にはチャプレンからのお誕生日カードを添えて、バースデーソングでお祝いをしています。

スタッフにお祝いの言葉をかけられ、この日誕生日を迎えられた患者様は満面の笑顔を見せてくださいました。そんな笑顔につられて、私たちも心温まるひと時を過ごすことができました。患者様の笑顔は私たちスタッフのなによりの励みとなっています。



ホスピス・緩和ケア病棟

多職種が患者様のために

赤城乳業製造の「ガリガリ君」という氷菓をご存じでしょうか。暑い夏やのどが渇いた時などに、とても美味しく助けられます。ホスピス・緩和ケア病棟の患者様も体調が芳しくない時、たいへん好まれます。赤城乳業は、2019年、日本緩和医療学会より、緩和医療を受ける患者の食の維持に貢献したとして「最優秀緩和ケア 食の維持賞」を授与されています。



当ホスピス・緩和ケア病棟では、病棟の冷凍庫に「ガリガリ君」を常備し、好きな時、好きなだけ食べられるようにすることができました。それまでには、さまざまな問題があって導入は簡単ではなく、看護・介護職はもちろん、患者様の食を支えたいという思いでひとつになった事務職や管理栄養士など、病院みんなの協力があってやっと実現したものです。

患者様からは「食欲なかったけど、これなら食べられる」「お粥も少し食べてみたい」と嬉しいお声をいただきました。そんな笑顔が病院みんなの大きな励みになっています。

医療部講演会のお知らせ

救世軍医療部では、毎年、「医療部講演会」を催しています。今年は、救世軍清瀬病院を主体に、6月2日(日)14時半～、「病むこと、老いること 対話と寄り添い」というテーマで催します。医療の中での対話や寄り添いを重視する医師 樋野興夫氏の講演と共に、医療者を含むグループ対話の場も設けます。

※ 添付のチラシをご覧ください。

演者：樋野興夫氏

医学博士。順天堂大学名誉教授、一般社団法人「がん哲学外来」名誉理事長、恵泉女学園理事長、新渡戸稲造記念センター長

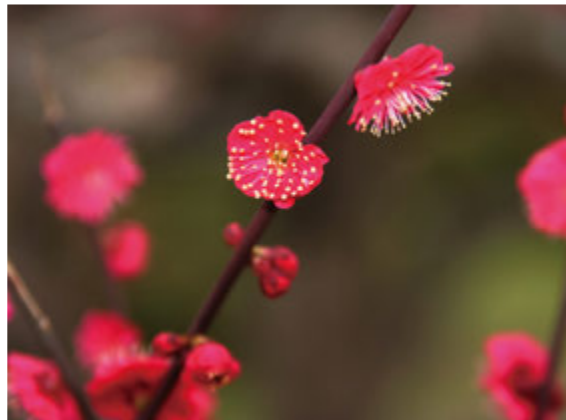
『がん哲学外来へようこそ』(2016. 新潮社)など著書多数



シリーズ連載

チャプレンの窓

清瀬病院の敷地内に、梅の木があり、春の初めに静かに花を咲かせます。寒い冬を耐えて、つぼみをつけ「必ず春はやってくるよ」と励ましてくれます。自然からの励ましも嬉しいのですが、人からの励ましも、心を温かくさせ、希望を与えてくれます。人は、一人で生きているのではないことを教えてくれます。



一緒に働く仲間を募集しています！



救世軍清瀬病院では、一緒に働く仲間を募集しています！

職種や部署に関係なく、互いに支え合いながらチームケアをおこなっている当院で看護師・介護福祉士など、資格を活かしながら働いてみませんか？

お気軽にお電話にてお問い合わせください。 TEL:042-491-1411 人事担当宛



ホスピス・療養病棟の入院問い合わせは
医療相談室までご連絡ください。

TEL: 042-491-1412 (月～土 9:00～17:00)



救世軍清瀬病院

The Salvation Army Kiyose Hospital

TEL: 042-491-1411

〒204-0023 清瀬市竹丘1-17-9

当院は宗教に関係なく、どなたでもご利用になれます。詳しくはホームページをご覧ください。

